

第51回全国中学校ハンドボール大会

試合結果・戦評報告

競技日	令和4年8月21日(日)	試合番号	S1	回戦	決勝
種別	中学生	会場	函館アリーナ メインアリーナ Sコート		

Aチーム			Bチーム		
東久留米市立西中学校 (東京)			高石市立高南中学校 (大阪)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
24	10	前半	8	23	
	14	後半	15		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

決勝の舞台に駒を進めたのは接戦を制し勢いに乗る高南と、安定した戦いぶりで勝ち上がってきた東久留米西。高南のスローオフで試合開始。序盤、高南が運動とカットインで2連続得点。東久留米西は3-2-1DFで相手のミスを誘い、マイボールにして速攻を仕掛けるも高南GK1番の好セーブによりなかなか得点を奪えない。お互い攻守の切り替えが早く、速攻を主体とした攻撃をするも、早い戻りと堅い守備、GKの活躍によりスコアレスで試合が進む。8分に東久留米西が7mスローを決め、ようやく得点、続けて速攻でも得点し同点とする。そこから一転点の取り合いとなる。前半14分5-5から東久留米西が3連続得点で5-8とし、一気に突き放す。しかし高南も19分、20分と4番の2連続得点で8-7と食らいついていく。その後も目まぐるしく攻守が変わる中、東久留米西は2点、高南は1点を取り、10-8で東久留米西前半終了。

後半開始直後、東久留米西13番の強烈なステップシュートが決まり11-8に。高南もすかさずポストシュートを決め再び2点差に。東久留米西は13番、2番の高い個人技で得点を重ねる。対する高南も集中したDFで相手の攻撃をしのぎ、3番、7番を中心に得点をあげる。後半15分東久留米西18-高南17と1点差とするも、退場者を出してしまう。ここから突き放したい東久留米西だが高南DFが踏ん張り19分で20-20の同点に。東久留米西はここでタイムアウト。直後に高南に退場者が出て東久留米西の7mスローが決まり21-20に。その後は粘り強いDFで追いつがる高南に対し、東久留米西は13番の連続得点などで寄せ付けず、24-23で東久留米西が勝利した。決勝戦にふさわしいスピーディでハイレベルな展開だったが、高南の終盤のミスが試合の明暗を分けた。

記載者名

吉田 清隆